

データベース整備戦略の事業化計画(案)

(1) 統合化およびDB利便性向上のための動向調査・戦略立案支援チーム

- ・ライフサイエンス(医療、農業などの応用も含む)、DB、情報技術の動向調査
 - ・ライフサイエンスプロジェクトの現状、動向調査
 - ・上記に基づく報告書作成、戦略立案、情報提供(ポータルサイト他にて)
 - ・戦略立案委員会の事務局機能
 - ・省庁連携のための連絡調整機能
 - ・下記のチームの連絡調整統合機能
 - ・DB利用者との協議会の事務局機能
 - ・医療データの収集と統合化のフェージビリティスタディ(外部機関と連携して)
 - ・その他の新規分野のデータの収集と統合化のフェージビリティスタディ(外部機関と連携して)
- (フェージビリティスタディ終了後は、下記の(2)のチームで統合化実施)

(2) ヒト統合化DB開発チーム

- ・論文、教科書からの知識抽出システム開発とそれによるヒト知識の整理
- ・ヒトデータ統合化のためのインデックス構築、辞書構築
- ・細胞、組織、器官などの高次レベルの整理棚構築
- ・文献情報との連携
- ・医療、医薬品に関するデータとの連携(将来的にはこれらも統合)
- ・ヒト統合化DB構築とその運用・公開
- ・ヒトゲノムブラウザの構築・運用・公開(一部外部委託)
- ・そのためのアノテーション実施(一部外部委託)

(3) ポータルサイト運用・検索サービス提供チーム

- ・ポータルサイト、検索サービスの維持・管理・更新・運用・公開
- ・DBサービスサイトに関する最新情報の自動収集エンジンの開発、運用
- ・ポータルサイト構築のための専門家の意見集約システムの開発、運用
- ・利用者の意見集約(モニター・ランキングシステム)の開発、運用
- ・データベースや解析ソフトウェアの利用法に関する情報の収集・編集・提供
- ・すべての情報提供の日本語化
- ・データベースの利用法等に関する相談窓口
- ・他のポータルサイトとの連携

(4) 統合化および知識発見のための情報技術開発チーム

- ・統合データベース構築技術、知識表現技術の開発
- ・文献検索技術の開発、検索エンジンの開発
- ・テキストマイニング技術の開発
- ・オントロジー自動構築技術の開発
- ・データベースからの知識発見、機械学習技術の開発
- ・情報共有、情報交換のためのWEB技術開発
- ・情報の暗号化、個人情報の保護技術の開発
- ・並列処理技術の開発

- ・他のチームへの技術・ソフトウェア提供

(5) DBの標準化・相互運用・公開チーム

- ・DBの標準化技術の開発
- ・DBの相互運用性向上技術の開発
- ・DB自動更新システムの開発
- ・基盤的なDBの支援とそれらの相互運用(一部外部委託)
- ・その他の外部プロジェクトDBの受け入れと相互運用可能DBへの変換
- ・ヒト以外生物(植物、微生物、モデル生物)のブラウザや統合DB開発(一部外部委託)
- ・そのための辞書やオントロジーの開発およびアノテーションの実施(一部外部委託)
- ・外国の主要DBの更新維持管理(おもに内部利用が目的)

(6) 広報・教育・国際対応・産学連携チーム

- ・センター全体のホームページ(日本語、英語)の構築、運用
- ・教育プログラム、教材の開発
- ・ニュース記事、コラムの作成(一部外部委託)
- ・講習会、シンポジウムの開催
- ・ニュースレター、パンフレットの発行
- ・国際対応、産学連携の窓口
- ・キュレーター・アノテータの養成(一部外部委託)
- ・DB管理者、DB構築者の養成(一部外部委託)
- ・DB高度利用者の養成(一部外部委託)

(7) 支援チーム

- ・知財(著作権や特許等)の管理
- ・外部DB受け入れに伴う権利関係などの処理
- ・民間との共同研究等の契約業務
- ・DBやライブラリの契約業務
- ・計算機やネットワークの導入・維持管理
- ・一般事務機能(経理、人事、庶務、契約、施設、安全衛生管理など)